

三鷹コラル情報誌

コラルボ

創刊号



三鷹コラル情報誌『コラルボ』 創刊にあたって

三鷹コラルの新しい取り組み『コラルボ』をお届けいたします。タイトルの「コラルボ」は、「コラル」と英語の Collaboration（協力や協業、協働）の「コラボ」を足し合わせた言葉です。三鷹コラルは、お客様をはじめとした地域の皆さま、団体・企業と連携、協働しながら、より魅力的な店づくりに取り組むとともに、このまちの商業を活性化し、三鷹駅前をより素敵な場所へと成長させていきたいと願っています。

この『コラルボ』を起点に、地域に新しいつながりや活動を、そしてそこから生まれる笑顔を増やしていけたら幸いです。

Contents

- コラル人 [カーニバル(地下1F) 店長 高橋潤一郎さん]
- コラル×三鷹 まちとつながるインタビュー [withbaby (ウィズベイベー)]
- 駅前とともに歩んで 手記 三鷹の今昔 [その1 三鷹事件]
- 三鷹コラルからのお知らせ

第1回 びと コラル人

三鷹コラルには、商品へのこだわりやお客様への熱い思いを持ったスタッフが揃っています。そんな個性あふれる「コラル人（びと）」の声をお届けしていきます。第1回は地下1F・カーニバルの高橋潤一郎店長です。

Interview

カーニバル店長
高橋 潤一郎

Junichiro Takahashi

日本ソムリエ協会認定ソムリエ



二度目の三鷹店

2018年の5月に、前任の学芸大学店から異動してきました。三鷹店としてワインに力を注いでいくことになり、ソムリエの資格を取得してワインの売上拡大を担っていた私に、白羽の矢が立ったんです。

実は、10年前に三鷹店立ち上げを担当し、その後4年間に在籍していました。覚えてくださっている常連さんが何人もいらして、転勤というよりは、「戻ってきた」という感じですね。

「このワインが、ここに?！」

今の時代、「一通り何でもある」では、お客様に魅力を感じていただくことはできません。そこで、「ワイン・オーガニック食品・チョコレート」を軸とした店づくりに取り組んでいます。その中心がワインですが、それも、商品の豊富さや安さでは大型の量販店さんにはありません。そこで、特に「日本ワイン」に絞って、商品の充実を図っています。

以前から私は、休日を使って各地の生産者さんを訪ね、ときには作業のお手伝いもさせて頂きました。お客様に専門家としてお薦めする以上、味だけでなく、ワイン造りの環境や造り手の人柄まで知っておきたいと思ったのです。

その縁があつて、生産量が少なく、あまり流通しない銘柄でも、生産者さんから直接仕入れることができていま

す。日本ワイン通のお客様が、何気なくうちの店頭をご覧になって、「どうしてこのワインがこのお店に?！」と驚かれることもあるんですよ。

立場をこえて、 ゆるく楽しめる場を

でも、この三鷹コラルは立地には恵まれているものの、たんに商品を充実させるだけでは、誰も気づいてくれないし、お客さんも増えません。

そこで、月1回のペースで、生産者さんをお招きしての試飲会を開催しています。忙しい生産者さんが、二つ返事で引き受けてくれて、山梨や山形から来てくださるのは本当にありがたいです。

SNSなどでPRしていますが、最近では4時間で120名以上のお客様が見えるようになりました。試飲のワインを片手に、お客様同士が会話を始めたり、そこに私が「この人が作ったんですよ」と生産者さんを紹介したり（笑）。生産者さんも、普段接することのない消費者の生の声が聞けると喜んでくれます。

回を重ねるごとに、造り手・売り手・買い手の三者の立場をこえて一緒に「ゆるく気軽にワインを楽しめる」会になってきています。これをしっかり継続しつつ、飲食店さんと連携した本格的なワイン会なども企画し、よりお客様に喜んでいただける店づくりをしていきたいですね。



地下1F カーニバル三鷹店

TEL 0422-40-6755

営業時間：10:00～21:00

ワイン会情報は、
店頭またはFacebookページにて



高橋店長のイチオシ！ 塩山洋酒製造（株）の日本ワインたち



(左から)
甲州 おりがらみ / 重川 甲州 / 甲州 雅 / Enzan SALZ BERG Koshu
1,580円 1,780円 1,680円 1,980円 (いずれも税別)

※品切れの際はご容赦ください

お話を伺っていると、言葉の端々から、お客様と生産者をつなぐ「売り手」としての熱意と誠実さが伝わってくる高橋店長。読者の皆さまもぜひ、季節のオススメや自分の好みに合うワインを相談してみてください！

コラル × 三鷹 まちとつながるインタビュー

三鷹コラルでは、商業ビルの枠をこえて、地域で活躍する人々や地域活動団体、他の店舗や企業との連携に取り組んでいます。この企画では、コラルが出会った「地域の魅力的な人・団体・活動」をご紹介します。第1回は、子育て支援団体「withbaby」の太田みつこ代表（右）、加藤綾子さん（左）にお話を伺いました。



withbaby

ウィズベビー

2014年3月3日設立の子育て支援団体。「こどもといっしょのhappy LIFE style」を掲げ、子育て中の女性が子どもと一緒に参加できる様々な講座、家族で楽しめる子育て応援イベントの企画・運営をはじめ、地域の様々な団体や企業とのコラボレーションを積極的に展開している。

●情報はLINE@ @withbaby にて

ママ達の声に向き合ってくれたコラル

私たちは2014年に活動をスタートしました。当初から、子育てママの応援だけではなく、子育て世代の視点を活かして地域の課題を解決していきたいという思いを持っていて、2015年に子育てママ対象のアンケートを実施したんです。すると、三鷹駅周辺の交通アクセスはみんな評価しているものの、授乳室がないために乳幼児を抱えるママが利用しづらいということがわかりました。はじめは行政に相談しましたが、場所や予算の問題もあって実現は困難でした。そんなときに耳を傾けてくれたのが三鷹コラルさんだったのです。

三鷹コラルに授乳室が誕生！ ハロウィンイベントも急成長

そうしてトントン拍子に話が進み、1年後の2016年12月、待望の授乳室がオープンしました。
また、その過程で、活動について様々なアドバイスをいただき、会員向けに行っていたハロウィンパーティーを、地域のお店を巡るお菓子ラリーや仮装パレードからなる大きなイベントへと成長させることができました。2018年度には、武蔵野市側の三鷹駅北口商店会さんご紹介いただき、三鷹駅の南北が一緒になっての催しに育っています。

5周年を迎えて法人化 地域の魅力を伝えていきたい

この3月の5周年を機に、一般社団法人化し、活動をより充実させていく予定です。その一つとして、子育てライフマガジン『withbaby』を創刊し、地域情報の発信に力を入れていきます。私たちは地域のみなさんに支えられてここまで活動を続けてこれました。でも、多くの子育て世代は、地域の魅力的なスポットや人の情報はもとより、行政サービスや公共施設の情報でさえ十分に得られているとはいえません。

引き続き、コラルさんをはじめ、地域の様々な団体や企業さんと連携しながら、この三鷹を、子育てを楽しめる、ママ&ベビーの笑顔が溢れるまちにしていきたいと思っています。

withbaby さんとの 連携によって誕生した 授乳室

三鷹駅からすぐの場所としてはほぼ唯一ということで、大変ご好評いただいています。4F・グルメ処すぐそばの好立地ですので、ママ友との食事の際などもぜひご利用ください。

ご利用可能時間	11時～20時
場所	4F(エレベーターホール横)



駅からは2F入口のエスカレーターで4Fへ



そのままフロア奥に進むと、授乳室マークが



※おむつ替えは2・4Fお手洗いの交換シートをご利用ください

写真提供：ややぶろ

駅前とともに歩んで 手記 三鷹の今昔 その1 三鷹事件

三鷹コラル商店会の会員が、駅前に生まれ育ちその歴史とともに歩んで来られた先輩方から、手記の寄託を受けました。先輩方が丹念に調べられた地元の歴史や実際に見聞された昭和中期以降の出来事を次世代に伝えたいと、70代、80代を過ぎてから、パソコンを習いながらまとめられた貴重なメモです。寄託を受けた会員を通して、本誌にご紹介していきます。

戦後まもない、昭和24(1949)年7月15日の夜9時20分頃、私が町会の無尽に出席するため家を出ると、突然駅の方で爆弾が落ちたような大きな音がして、稲光のような光が見えた。私は無尽を忘れて急いで駅に走っていくと、駅前の広場には、ほこりがもうもうと舞い上がっていたが、すぐには何があったのか分からなかった。広場にいる人が、電車が飛び出して大勢怪我人がいると騒いでいた。間もなく警察官が来て広場を立ち入り禁止にした。

私は自宅に戻り、経営していた放送所のマイクや機械を持っていき、警察官の許可を取り、家族の心配をして駆けつけた人々に対し、怪我人の名前や入院中の病院名を放送した。名前が不明の場合は、服装や持ち物等の放送をくり返し行った。また、事故死した方は服装や大体の年齢等を放送して知らせた。

後の発表で、中央線三鷹電車庫構内に停留していた7両連結の無人電車が、突然走りだし、猛烈なスピードで800メートル先の三鷹駅の停止線を突破、さらに前方のホームにあがる乗客通路のコンクリートの階段をふき飛ばし、さらに精算所、便所、駅前交番をもふき飛ばし、約40メートル先の駅前運送業の軒先を壊したうえ、アパート美土里荘の玄関前に突入、ようやく停止した。

折り悪く、下り線に浅川駅(現・高尾駅)行きが到着したところで、下車して家路を急ぐ人々や、夏の宵を南口駅前広場で涼を求めている人々は、一瞬にしてひき倒され、押しつぶされ、パチパチと火を噴く電車の下に「阿鼻叫喚の地獄絵図」を展開した。このため事件の犠牲者は、6名死亡、13名の重軽傷者を出した。

不思議に大破した同電車には乗務員の姿が見られず、スピードが

戻らないよう細工がしてあった。警察署では、捜査本部を設置、犯人捜査を開始した。後にこの事件は、三鷹電車区の元検査係、当時29歳の竹内景助の単独犯行とされた。竹内は一審で無期懲役、二審で死刑、昭和30(1955)年の最高裁判決で死刑が確定した。竹内は直ちに再審を申し立て、獄中から無実を叫び続けていた。ところがようやく再審が決定にむけて動き出した矢先、昭和42(1967)年1月18日に獄死した。死因は脳腫瘍だった。

竹内景助の死亡により、三鷹事件の再審は立ち消えとなり、事件の真相はついに問われることなく、こんにちに至っている。

後日、三鷹駅前通りにあった警察署から来所して下さいとの連絡があり、行ってみると、事件当日はご苦勞様でしたと感謝の言葉をもらい、茶碗酒を振る舞われた。生まれて初めて飲んだアルコールに悪酔いし帰宅してから大変苦しんだ。もう二度と酒は飲みたいと思ったが。

事件後、駅前通りのマスヤ喫茶店2階で、共産党関係者が三鷹事件の前に会合を開いていたと噂になった。後に高相会議といって有名になった。マスヤ喫茶店は、戦争中近所の人に頼んで田舎に疎開していた。我が家では高相氏には貸していないので、返すよう何度も伝えたが、なかなか返さないで、裁判をして返してもらった。

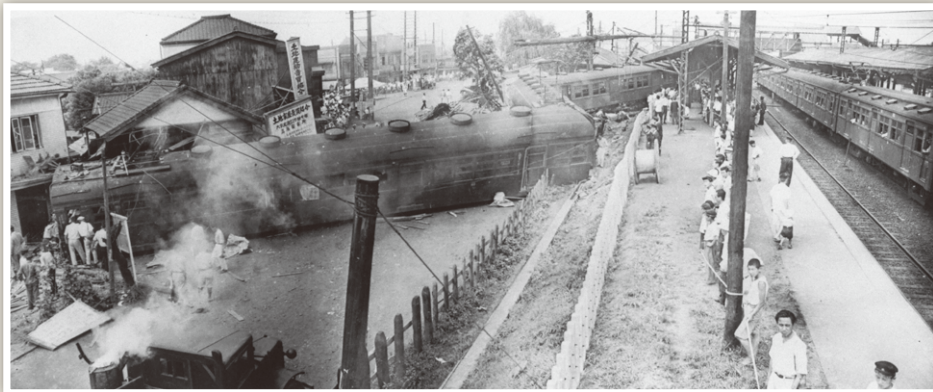
平成になってから、NHKがカメラを担いで我が家に来て、三鷹事件当日に共産党がやったと放送した者がいると噂が流れていたと聞いたが、私が放送したのかと調べに来た。私はそんなことは知らないし、放送もしていないと返事をした。

橋本福雄氏よりご寄稿

氏は、三鷹駅の設置に多大な功績のあった橋本家のご出身です。現在の三鷹センタービル(東急ストア)の場所にあってご自宅から、そして開発のために転居されてからも、三鷹駅前の移ろいを見つめて続けてこられました。



▲当時の新聞記事(サン写真新聞)



▲三鷹事件翌朝の現場(写真:朝日新聞社)

吉祥寺側から三鷹駅をのぞむ、左側は現在の緑の小広場

※ 個人の手記であり、原文を尊重して掲載しております。ただし、編集部にて一部表記の編集を行っています。

三鷹コラル営業のご案内

【営業時間】 B1F-3F ショップ 10:00~21:00
4F グルメ処 11:00~23:30
※一部の店舗は除く
【定休日】 1月1日、4月と9月の第二水曜日

三鷹コラル
アプリができました



イベント情報

今年もやります! コラル商店会「第8回ワンコイン商店街」
2019年4月28日(日) 10:00~17:00 (4階グルメ処は11:00~)

コラル全館ワンコイン(百円、五百円)のお得な商品・サービス満載!
ご家族向けの楽しいイベントも実施します。

駐車料金サービスのご案内

三鷹コラルでは、地下2階の駐車場や、タイムズ提携駐車場(近隣の駐車場)で、以下の駐車料金サービスを行っています。店舗ご利用時には駐車券をご提示下さい。

三鷹コラル館内で
1店舗でのお買い上げ

2,000円以上のご利用で
30分 無料

4,000円以上のご利用で
60分 無料

1回のお買い上げで最大60分が限度となります / テナント間のレシートの合算は行いません / 当日分のレシートのみが対象となります / 3階の啓文堂書店・5階の三鷹市美術ギャラリーでは当サービスは行っておりません / 4階のレストラン街においては、10,000円以上のご利用で1時間30分の無料券を発行いたします / 都合により、一部情報に変更になる場合がございますので、ご了承下さい。

